

札幌大谷大学同窓会

OTANI しんしんかい 真心会

同窓会だより

第40号 平成28年10月10日発行

〒065-0016 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

<http://www.sapporo-otani.ac.jp/dousoukai/>



平成27年度
学位記授与式

平成28年3月12日



札幌大谷大学

学長

巖城孝憲

大学では、昨年度、南棟の耐震工事が、文科省の補助金を受けて実施され、三月には終了いたしました。学内には補強の鉄骨が露わになっている光景も見受けられます。高校のほうの工事も同時期に終了し、中庭が駐車場になったりしています。残るは、大学の北棟ですが、新築するには、将来の大学構想と深く関係する問題でもあり、現在では財務上の問題もあって、話は進展しておりません。けれども、大学構想の願いを見失うことなく、現状を乗り越えて参りたいと思います。

寺の住職としての法務をする中で、檀家さんの中には、うちの大学・短大部の卒業生もいて、お盆の時にも、盆参りで、卒業生何人かとお会いしました。皆、学生時代の話をする時は幸せそうです。学内でも、夏期休暇中に、三年前の専攻科修了生Iさんが、生まれて三か月の赤ちゃんと学長室に、友人のOさんと一緒に来てくれたり、同窓会ホールのコンサートでも、二年前の卒業生An・Ao・Sさんたちに出会い、「学長先生！」と声をかけられ、感動的な演奏を聴き、圧倒させられた思い出でした。

二〇年ほど前の学園の評議委員会での「母校をなくさないで下さい。女性にとって母校は、母親です」というN理事さんの悲痛な言葉が、私の耳に焼きついています。同窓生の皆さんの母校の存続に向けての舵取りを怠ることなく、一万三千人を超える同窓生の笑顔、そして、今現在熱心に学んでいる学生たち、更にはこれから希望・憧れを持って本学に進学してくる未来の学生たちの学びのためにも、この大学の課題と向かい合い続ける力を、教職員と共に確認していきたく思います。



札幌大谷大学同窓会

会長

小原明美

音楽科14期

爽涼の秋、山々が一段と色濃くなつて参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年三月、社会学部地域社会学科から初めての卒業生をお迎えし、同窓会に新たな一ページが加わりました。

これまで何十年もの地道な歩みによって創り上げて来ました三科の行事も、保・音・美、それぞれの世界をしっかりと外へ発信することで、毎回確かな手応えを感じ、次へのステップへとつなげて参りました。

今月二十二日に保育科・キッズフェスティバル、来年四月末には音楽科・谷の音会コンサート、六月は美術科・谷の会展とイベントが次々と予定されていますが、子供達のいきいきとした表情、会場からの心温まる大きな拍手、一つ一つの作品に対する温かなメッセージ：それぞれが関わる者にとって大きな力、励みになります。

これから三科に加え、社会学部の存在、卒業生の活躍を広く知っていただけるよう基盤作りをしなければなりません。

同窓会が設立されて五十五年。日々刻々と変化し、考え方、価値観が多様化する今だからこそ、四科の存在が光ります。

これからも大学、本部、支部がうまく連携をとり、さまざまな課題に慎重かつスピーディーに取り組んで参りたいと存じます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



芸術学部学部長

●
三山 博司

同窓会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。私は今年度より芸術学部の学部長を拝命いたしました三山博司でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、札幌大谷大学が二〇〇六年に音楽学部音楽学科の単科大学としてスタートして十年が経ち、四年前には美術学科が音楽学科とともに芸術学部となつて生まれ変わって今春初めての卒業生を送り出しました。そして今年度は芸術学部として五年目の再スタートにあたり、全学的にカリキュラムの改定を行いました。その大きな特徴は、大学生の学びの基礎となる一般教育科目に社会学部と共通の大学共通一般科目と従来の芸術学部共通一般科目を配置し、広範囲の分野から選択して学べるようにしました。さらに各学科の専門科目の他に、所属する学部・学科以外の専門科目を含む自由科目を新設しました。これらのフレキシブルな履修選択の活用により、それぞれの専門領域を深く追及することでその道のプロフェッショナルを目指す学生だけでなく、芸術を通して地域社会に貢献していく学生など、卒業後の就職・進学の選択肢が増えることが期待されます。

芸術学部の学生募集は年々厳しさを増しておりますが、今年度は美術学科が従来から採用している指定校推薦制度を音楽学科も取り入れさらに音楽学科は「大谷コンクール」の毎年開催、美術学科は各地域との連携企画の充実など、芸術分野への進学希望者増加の方策として様々な取り組みを行っております。

これからも芸術学部の教員一丸となつてより良い教育活動に邁進してまいりますので、どうか今後とも芸術学部に対する温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会学部学部長

●
梶井 祥子

皆様には、日頃より多くのご支援を頂き心より感謝申し上げます。

社会学部の第一期生が今年の三月に卒業致しました。就職決定率・正規雇用率ともに一〇〇%となり、札幌市をはじめとする自治体や優良企業へ堂々と旅立って行きました。「社会学部の伝統は自分たちが築く」と言っていた彼らが、まさにその責任を果たしてくれたと感じております。

それから半年も経たないうちに、すでに十人以上の卒業生が大学を訪ねてくれました。仕事のこと、仲間のことなど、一段と成長した若者との楽しい話題は尽きません。教員として、最も嬉しいひとときです。

社会学部地域社会学科の大きな特長は、親身な少人数教育と地域社会をフィールドとした実践的学びにあります。またコミュニケーション教育にも力を注いでいますが、この点も就職活動では大いに役立つようです。他大学の社会科学系学部とは一線を画し、本学社会学部ならではのユニークな教育のあり方を、これからもしっかりと追及していきたいと考えております。

次年度より「給費生入試制度」もスタート致します。幅広く『社会』を学び、地域の課題に挑み続ける若者を募つて参ります。今後とも変わらぬご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



短期大学学部長

●
柘植 純一

同窓会の皆様にはいつも保育科をご支援いただきまして心から感謝申し上げます。本年度も保育科は定員を割ることなく一〇九名の新入生をお迎えすることができました。また今春の卒業生一〇九名の進路は幼稚園三十六名、保育所三十八名、認定こども園十名、保育所以外の福祉施設五名、一般就職一名、専攻科等進学十七名、家事・その他二名となつており、就職した卒業生の九八・九%が保育の専門職に就きました。本年度で保育科は開設五十五年目を迎えますが、これまで一度も定員を割ることなく学科を運営できております。しかしながら全業種の月平均給与よりも十万円も安いと言われる保育士の待遇の悪さが保育者を目指す人たちの減少につながることを懸念されております。また待機児童解消策として政府が打ち出している規制緩和による保育施設への乳幼児の詰め込みは保育の質の低下とともに、保育士の労働環境を一層悪化させることにつながります。責任ある仕事内容に見合った待遇の保障とともに保育の質を改善させるための働きかけも私たちにとつて非常に重要になっております。歴史ある本学の伝統を汚すことなく教員一同全力を注いでまいりますので今後とも変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

釧路支部



支部長 泉 洋子 音楽科12期

「設立三十周年に向けて」

近年になく釧路にしては暑い夏を味わっている間もなく秋が忍び寄ります。また天災や人災など驚いている余裕もない程、喧しい世の中に身を置いている一人として、対岸の火事的な思考は自らも貶める結果になるのではと、少し不安になる事もあります。少しでも視野を広げ、想いを大切にしてゆきたいものです。

さて釧路支部は例年より少し早く四月十七日に支部総会を行ない、次第通り役員改選を含めて滞りなく終了いたしました。

また来年は設立三十周年事業として、コンサートを企画しております。できるだけ様々な会員が参加できるよう工夫したいと思えます。内容としてはソロ演奏、アンサンブル、合唱、作品展示などで九月中に実施する方向で、実行委員会が動いております。

三十年を迎えられるのも支えてくださる、すべての方々の賜物と思い、更にこれから繋がる確かな力になるように心から願っております。

十勝支部



支部長 高橋 亜香 音楽科20期

「支部設立十周年を迎えて」

この同窓会だよりが皆様のもとに届く頃、十勝支部は一つの節目を通り過ぎているだろうと、今は準備に追われています。

今年度の総会を六月四日に行い、設立十周年記念コンサートに向けての志気を高めました。とは言え総会参加者が支部会員のおよそ一割(九名)で、支部総会のあり方、同窓会のあり方を考えさせられます。

コンサートは九月二十四日に行い、大学から先生をお招きしての演奏や、作曲コースの小山隼平先生に委嘱した合唱曲「十勝のための組曲」を同窓生有志で演奏します。

このように行事を行うと、同窓生のつながりを再確認できると考えていますが、普段の暮らしの中でもう一步、同じ学舎で学んだ仲間との絆を深めていくと、同窓会活動も更に盛んになるのでは、とその方法を模索する日々でもあります。

オホーツク支部



支部長 横島 桂子 音楽科19期

「変わりゆく中で」

世の中も人々も、時の流れと共に変わってゆく中で、同窓会も数年前から新しい風がふいている感じがします。

支部にとって声かけと交流、今までの出会いや仲間を大切にしつつ、新しい会員を増やすことが何より重要なことと思えます。

今年度の本部総会には、私の入院で、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

これからは、健康第一に、今の世の中や同窓会の状況に合わせて、今後の活動に励みたいと思います。



輝いて今……

各科のなかまたち

「出会いの中で…」



長内 由香子 保育科19期

早いもので短大を卒業して三十五年が過ぎました。卒業してすぐ地元函館の幼稚園に就職し八年間勤務した後、体調を崩したため保育の現場を離れました。

元々ピアノを弾くのが好きだったので、知人の紹介で大正琴のバンドの手伝いや助手、リコーダーやギターの伴奏や市民オペラの裏方など様々な音楽活動のお手伝いをして過ごす中、公立の幼稚園から非常勤の話があり、再び保育の現場と音楽の仕事と併用してきました。仕事は楽しかったけれど、その時すでに三十歳！私はこれからどうしていいこう？と漠然とした不安を感じて過ごしていた矢先、主人と出会い、結婚し出産のため仕事を辞めました。毎日、子育てに明け暮れている中、最初に勤務していた幼稚園から、音楽の講師の話がもちあがりました。私に音楽の本当の楽しさを教えてくれた先生が若くして亡くなり、その後任としてのお話でした。

ありがたいと思うとともに「私にはとてもできない。」という不安の中、その時の園長先生から「あなたしかいないのよ」という嬉しい言葉に後押しされてひきまきました。

現在も今の幼稚園でお仕事ができるのは、この出会いがあったからです。

いつも思うのは、その時その時で本当にたくさんの方々との出会いがあり、その人とのつながりで私は助けられ、支えられて今の自分があります。

そして、それはいつもそばにいる人ばかりではなく、遠く離れていても心のどこかで思っていてくれたり、祈っていてくれる人もいることを感じています。

でも、いつも自分と気の合う人との出会いばかりではないですから、時には辛かったり悲しくなることも多くあります。

そんな時は、きつといつかはその人との出会いも自分の糧になると信じて、これからも過ごしていきたいと思っています。

現在五十五歳。これからどれだけの人生を過ごしていくのかどうかわかりませんが、身体をいたわりながら新しい出会いを楽しみにして、これからの時間を大事に過ごしていきたいと思う今日このごろです。

「音と人」



高橋 良輔 音楽学科5期

研究科を修了して早二年となりました。今は地元札幌を拠点に音楽活動を行う他、様々なコンクールやオーディションを受け続けています。

昨年度は連良く三つの結果を残すことができました。同じ師の元で学んだ友人と参加した日本クラリネット協会主催第十二回クラリネットアンサンブルコンクールにて第二位を受賞。第九回横浜国際音楽コンクールで第一位受賞。新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズに合格して、高関健指揮、札幌交響楽団とコープランド作曲のクラリネット協奏曲を演奏

させていただいたことです。

これらの演奏のたびに「この方々と共演できて幸せだった」と強く感じました。人の違いはあれど、一つの音楽を一緒に組み立てることに違いはありません。共演者を信頼し、尊敬して演奏することが重要だと気づき始めた今日この頃です。

未熟で若造のクラリネット吹きですが、今後とも人との繋がりを大切に、より質の高い音楽のためにひたむきな努力を続けていきます。

「やくひつのかたち」



菊池さくら 美術科45期

いつからか「月」が作品のどこかにひそむようになりました。あの曲線美が好きだから、というだけではないと感じたのは、ご縁がある

個展を開くことが決まったとき。テーマに悩み、ふと「月」との出会いはいつだったかと記憶から探しました。ここ数年は、「夜」をテーマにしています。

暗いイメージから膨らむ世界ですが、実を言うと私は暗所恐怖症です。小さい頃から、先の見えない闇や海の中に鳥肌が立つほど萎縮してしまいます。

実家は山の中にあり、電灯もないところを通る夜の帰り道は、冷や汗（ときどき涙）を流しながら歩いたことを憶えています。

そのとき、道を照らしてくれた月明かりが唯一の救いでした。

あの夜に見つけた月への安心感、道標となってくれていた存在に、無意識に惹かれていたのでしょう。今思うと、そのときの感覚は、衝撃を受けた作品に出会ったときと似ています。もしかすると、暗闇

に「恐れ」ではなく、言い知れぬ「畏れ」を感じているのかもしれない。

暗いところにも、どこかにあたたかい存在がある。その存在を、私は「月」をひとつのかたちとして現したい。頭の片隅でぼんやりとそう浮かべせながら、これからも作品をつくりたいと思います。

「毎日が勉強」

木村 優美 地域社会学科1期



札幌大谷大学社会学部の一学生として学舎を巣立ってから、早いもので半年が過ぎようとしています。仕事を始めてから目まぐるしく毎日が過ぎ、より一層あつという間に感じます。

現在私は中央区役所で生活保護のケースワーカーとして働いています。配属が発表になった翌日には、生活保護の知識が何もないまま配属初日を迎えました。ケースワーカーの業務においては生活保護法のみならず、介護や年金、医療費に関する事など、様々な知識が求められます。右も左も分からない私に、「分からないことがあったら何でも聞いて」と教育係の先輩が声をかけてくれ、四年間先輩がいなかった私にとってその言葉はとても頼もしく響きました。

大学時代の取り組みは仕事上の「人と話す場面」「文章を書く場面」によく現れると感じます。大学時代に年上の方々と話すことに慣れていてよかったですと思いますし、逆にもっとともにレポートに取り組んでいけばより分かりやすい文章が書けたのに…とも思います。新しい知識を身に付け、同時に大学時代の経験を高め、少しでも早く一人前の行政職員になれるよう、毎日が勉強の日々です。

図書館について

札幌大谷大学図書館は、記念棟1階の本館と、南棟1階の第2図書館の2箇所に分かれています。本館には社会学部・保育・美術・仏教・その他一般図書を、第2図書館には音楽関係の資料を収蔵しています。どちらも自由に利用できますので、用途に応じてご利用下さい



開館時間

月～金曜日	9:00～19:00
土曜日	9:00～16:30
長期休暇中	9:00～16:30

閉館日

※日曜日、国民の休日、年末年始及び大学の定めた休日。その他、学校行事等の都合で臨時閉館または開館することがあります。

平成27年度収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入 12,495,062円
支出 7,727,613円
差引残高 4,767,449円 (次年度繰越)

札幌大谷大学同窓会真心会

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
入会金	2,730,000	2,730,000	0	短大1年入学手続者 106名 @10,000 大学1年入学手続者 167名 @10,000
会費	3,439,000	3,963,000	△524,000	短大在学生 111名 2,183,000 大学在学生 7名 50,000 卒業生 493名 1,730,000
雑収入	200,000	426,117	△226,117	御祝儀 60,000円、懇親会 11,000円 預貯金利息 660円 谷の音会コンサートチケット代等
前年度繰越金	5,375,945	5,375,945	0	
合計	11,744,945	12,495,062	△750,117	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
同窓会便り発行費	400,000	295,208	104,792	第39号印刷費 7,900部
同窓会便り発送費	800,000	664,065	135,935	発送費 @87.4 7,598部
消耗品費	100,000	23,786	76,214	事務用品等
活動費	700,000	378,521	321,479	役員活動費、交通費
通信・連絡費	250,000	210,759	39,241	総会案内ハガキ、資料発送費、電話代
印刷費	300,000	212,580	87,420	総会案内印刷、封筒、コピー代
会議費	600,000	171,437	428,563	役員会等費用
慶弔費	300,000	90,000	210,000	入学・卒業式・三科・支部祝花・香典・供花
補助費	400,000	220,000	180,000	支部 @60,000×3 各支部会員数別補助費
データ管理費	100,000	54,000	46,000	名簿データベースメンテナンス
卒業記念品	400,000	373,320	26,680	27年度卒業生名簿、卒業記念品
支部関連費	500,000	275,132	224,868	支部会議・交通・宿泊費等
行事費	2,500,000	503,628	1,996,372	谷の音会コンサート
備品費	200,000	170,470	29,530	同窓会室書類整理棚(鍵付)・加湿器
雑費	194,945	84,707	110,238	理事長・学長・事務方挨拶・振込手数料等
積立金	4,000,000	4,000,000	0	
合計	11,744,945	7,727,613	4,017,332	-

《平成28年度事業ならびに活動予定》

平成28年

4月2日 大学・短期大学部入学式出席

5月21日 同窓会本部・支部連携会議及び総会

9月24日 十勝支部設立10周年記念コンサート

10月上旬 第40号同窓会だより「OTAN」発行予定

発行予定

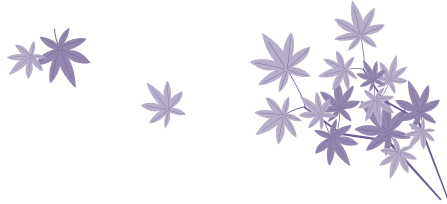
10月12日 開学110周年記念事業出席

10月22日 キッズフェスティバル

11月27日 谷の音会コンサートオーディション

平成29年

3月11日 大学・短期大学部卒業式出席



同窓生数

同窓生数計	13,765名
保育科	5,005名 (専攻生含む)
芸術学部音楽学科	5,093名 (旧音楽科、音楽学部、研究生含む)
芸術学部美術学科	3,625名 (芸術学部、専攻生含む)
社会学部地域社会学科	42名

行事ご案内

保育科

10月22日(土)、10時～16時、大学3階の大教室で「キッズフェスティバル」を開催致します(入場無料)。「作ってあそぶコーナー」、「読み聞かせコーナー」等の他、学生による人形劇(コロボックル)やミニコンサート(にこにこ音楽隊)も、ご覧いただけます。また大学祭「橙丹祭」が開催中ですので学生の模擬店にも参加出来ます。たくさんの笑顔に会えることを楽しみに、お待ちしております!!

芸術学部美術学科

平成29年6月13日(火)～18日(日)まで大丸藤井セントラルスカイホールにて第2回「谷の会展」を開催致します。卒業生、在校生の皆様、ふるってご参加下さい!! 詳細は別紙にてご確認をお願いします。

芸術学部音楽学科

来春2017年4月29日(祝・土)、札幌コンサートホール(キタラ小ホール)におきまして「第41回 谷の音会コンサート」を開催いたします。春の訪れと共に、音楽を聴く喜びに浸ってみませんか。多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。それに伴いオーディションを2016年11月27日(日)に札幌大谷大学にて行います。我こそはと思う精鋭の方々、音楽科(音楽学科)の卒業生または在学学生であれば、年齢は問いません。どうぞ奮ってご応募ください。オーディション申し込みメ切は2016年11月18日(金)必着です。

「保育士資格取得特例講座」について

保育科では平成26年度から、幼稚園教諭免許をお持ちで、一定以上の実務経験のある方を対象とした保育士資格取得特例講座(通信制)を開講しています。

今年度は、54名の方が受講され、5月末～8月上旬にかけて行われたスクーリングと添削課題に取り組みました。

受講料は1科目1万円(この他に教科書代など実費負担有り)、本学卒業生は入学金が免除されます。

平成29年度以降の開講については現在検討中です。詳細が決定次第、本学HPに掲載いたします。

(お問い合わせ先: 保育研究室 011-742-1679)

《会費の納入方法》 平成 26 年度より改正

【在学生（準会員）】

*平成 26 年 4 月 1 日入学生から

- ・入会金 10,000 円：入学時に納入
- ・終身会費 20,000 円：大学…4 年次後期に納入
短大…2 年次後期に納入

*平成 24 年 4 月～平成 25 年 4 月までの入学生 (現 3、4 年生)

- ・入会金 10,000 円：入学時に納入
- ・卒業時に以下①②のどちらかを選択
 - ①終身会費 20,000 円：卒業時（正会員となった時）に納入
 - ②卒業後⑥年目より年会費 1,000 円を毎年納入
- ※年会費を選択した場合、卒業から 5 年間の会費納入は免除

【卒業生（正会員）】

*正会員になってから 6 年未満の会員 (平成 20 年度～平成 25 年度の卒業生)

- 卒業してから 5 年分の会費免除。
- 6 年目から以下①②のどちらかを選択
 - ①終身会費 20,000 円を納入
 - ②年会費 1,000 円を毎年納入

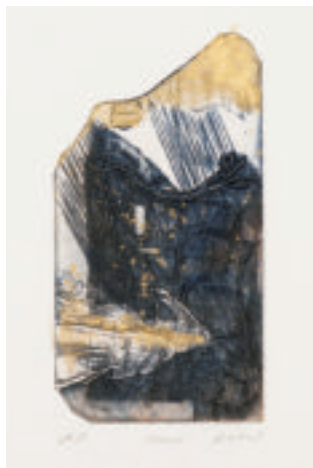
*正会員になってから 6 年以上の会員 (平成 19 年度以前の卒業生)

- 平成 26 年度より、以下①②のどちらかを選択
 - ①終身会費 20,000 円を納入
 - ②年会費 1,000 円を毎年納入

会費納入についてのお問い合わせは同窓会室 FAX か gmail とします。

FAX/011-743-6466 gmail/ootanisinsinkai@gmail.com

振込用紙は宛先も兼ねておりますので、終身会費を納入頂いた方にも同封されます。お手数ですが破棄願います。



Ame



Ame



つづき



なる空

高野理栄子

美 32 期 平成 11 年度

美術科研究生Ⅱ美術専攻修了

H27 年 10 月～H28 年 3 月まで展示

かかずいさち

美 36 期 平成 14 年度

美術科美術専攻油彩コース修了

H28 年 4 月～H28 年 9 月まで展示

同窓会ギャラリー 本学食堂に展示

編集後記

近年多くなった自然災害により、今もなお避難されている方々に心よりお見舞い申し上げます。皆様のご協力により、今年も無事に同窓会だよりをお届けすることができました。ありがとうございました。

Y.

役員	名誉会長	会長	副会長	副会長	副会長	会計	会計	書記	書記	書記	庶務	会計監査	会計監査	会計監査	十勝支部長	オホーツク支部長
巖城孝憲 (学長)	小原明美 (音14期)	佐藤潤子 (美12期)	澤田一枝 (音15期)	谷原弥生 (保19期)	佐藤香 (美44期)	山由美 (保19期)	石川有希子 (音30期)	笹森衣里 (美38期)	藤川絵里子 (保28期)	佐武美香 (保24期)	河合紀子 (音27期)	泉洋子 (音12期)	高橋亜香 (音20期)	高橋亜香 (音20期)	横島桂子 (音19期)	

平成28年度真心会本部